平成28年
(2016年)
4.1
No.785

広報ほっとたなべ

http://www.kyotanabe.jp/

新しい愛称で呼んでね

発行／京田辺市
〒610-0393 京都府京田辺市田辺 80
☎ 0774-63-1122 ／ FAX 0774-63-4781

■ 主な内容

02　雨水タンクの設置に補助
04　児童福祉週間
05　ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ

今号から広報紙がリニューアル！

美しく品格のあるまちを目指して
平成28年度施政方針

2月22日、京田辺市議会本会議で、石井市長が平成28年度の「施政方針」を発表しました（＝**写真**）。「緑豊かで健康な文化田園都市」「未来のふるさと京田辺の創造」を実現するため、現地現場主義に徹し、市民の参画と協働によるまちづくりを自ら先頭に立って進める決意を述べました。

施政方針の全文は、市ホームページ「こんにちは市長です」のコーナーに掲載しています。

政策キーワードごとに重点プロジェクト

平成28年度は、第3次総合計画の後期基本計画となる「まちづくりプラン（計画期間＝平成28年度～同31年度）」のスタートの年です。同プランでは、3期目の就任時に掲げた「安全・安心」「緑」「健康」「文化・教育」「田園都市」の5つのキーワードごとに重点プロジェクトを設けています。今後、活力あるコンパクトシティ推進をはじめとしたプロジェクトを展開することで、市民の皆さんに「住んで良かった」と思っていただけるまちづくりに取り組みます。

また、施策推進の原動力となる職員の人材育成に努めるとともに、まちづくりの重要なパートナーである同志社大学・同志社女子大学との連携を深め、大学のあるまちにふさわしいまちづくりを推進してまいります。

一般会計は239億円 過去最大の予算編成

平成28年度の一般会計予算は、地方創生に関係した新たな交付金などを活用した結果、過去最大の239億円で、特別会計を含めた総計が416億6千万円となりました。また、財政状況が厳しさを増していることから、自主財源の確保、事業の効率化や適正化など、財政の健全化を図ってまいります。さらに、事業効果をより高めるため、施策の選択と集中など行政改革にも取り組んでまいります。

新規事業については、既存事業の統廃合や見直しを進めることで財源を確保し、「未来のふるさと京田辺の創造」を確実に実現できる予算を編成しました。

市制施行20周年を控え成熟したまちへ

今年は、市制施行20周年を1年後に控え、本市が成熟したまちへと羽ばたく重要な年です。

これまで本市は、高い交通利便性と豊かな自然を生かし、北・中・南部の拠点駅を中心にコンパクトシティの形成に取り組むとともに、子育て支援を重視したまちづくりを進めてまいりました。その結果、1月に発表された平成27年国勢調査（速報値）にも表れているように、全国の自治体で人口が減少する中、本市では子育て世代を中心とした人口流入が続いており、順調な増加が見込まれています。

今後も、先人たちが築いた歴史・文化・伝統を受け継ぎながら、大学のあるまち、学研都市のまちとして文化のストックをさらに高めるとともに、自然や環境と調和したまちづくりを進め、京田辺の魅力を広く発信することで、「美しく品格のあるまち」を目指してまいります。

5つのキーワードでまちづくり

5つのキーワードごとに、本市の目指す都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に取り組みます。

平成28年度に取り組む事業は、今号に折り込んでいる予算特別号でお知らせしています。

安全・安心
誰もが安全で安心できるまちづくり

自然災害に対する備えとして、生活基盤施設（インフラ）の耐震化や、浸水被害を最小限にとどめる治水対策などに取り組みます。また、災害時に大きな力を発揮することが期待される「共助」の活動拠点となる避難所の充実と運営強化に視点を置き、「誰もが安全で安心できるまちづくり」を進めます。

緑
緑に包まれた環境にやさしいまちづくり

市民が里山の緑や水辺に触れ親しめるよう、水辺の散策路整備の計画的な展開と、街中における緑の拠点整備を進めます。また、地球温暖化防止・CO2 削減に取り組むことで「緑に包まれた環境にやさしいまちづくり」を進めます。

健康
誰にもやさしい健やかで幸せなまちづくり

子育てしやすいまちナンバーワンを目指し、多様なライフスタイルに応じた子育て支援を充実させるなど、子どもを安心して生み育てられる環境づくりに取り組みます。また、市民の主体的な健康づくりを支援するとともに、地域における絆の創出と高齢者の生きがいづくり、障がいのある人の自立支援を進め、「誰にもやさしい健やかで幸せなまちづくり」を進めます。

文化・教育
文化の創造と誇りあるまちづくり

未来の京田辺を担う子どもを育むため、学校ごとに特色ある教育を推進するとともに、市民の文化活動の活性化に向けて、文化ネットワークの中心となる文化施設の整備に取り組みます。また、同志社大学や関西文化学術研究都市との連携を図りながら、「文化の創造と誇りあるまちづくり」を進めます。

田園都市
自然と調和した活力あるまちづくり

人口減少や超高齢社会に備え、市中部に公共サービスや商業施設を集約させた新たな市街地を整備することで、便利で快適なコンパクトシティの形成を目指します。また、新名神高速道路の整備による高速道路ネットワークのハブ的な立地環境を生かし、新産業の創出を図りながら、「自然と調和した活力あるまちづくり」を進めます。